

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通対策費

### 事業名【新】岐阜県MaaS指針策定調査事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園整備局 電話番号：058-272-1111(内4936)  
公共交通課 地域交通係

E-mail：c11134@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・公共交通機関は、新型コロナウイルスによる外出需要の減少等により、利用者が大きく減少した。その一方で、高齢者や学生等の移動手段として、維持存続が求められており、新技術等を活用した利便性の高い交通サービスの実現が求められている。
- ・電車やバス、タクシー等の交通機関は、個々の運行主体が個別にサービスを提供しているため、利用者が目的地に向かう際、どのような選択肢があるのか、どの選択肢が最適なのかを判断することは難しい。
- ・そこで近年注目されているのが、複数の交通手段を統合して一つのサービスとして提供するMaaSである。本事業では、MaaSの他県、他国の動向や先進事例を踏まえながら、本県が目指すべきMaaSの形を調査・検討し、利便性の高い交通サービスの実現を目指す。

### (2) 事業内容

委託費 3,000千円

「岐阜県地域公共交通協議会調査委託事業」

岐阜県内において、MaaSを導入するために必要なサービスや機能、ビジネスモデルなどについて、移動に関する社会情勢の変化等を踏まえて具体的に整理しながら検討調査を行い、今後のMaaSに関する取組みの基礎資料とする。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,000	業務委託
合計	3,000	

**決定額の考え方**

作成に必要な調査を過年度に実施しているため、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創生総合戦略

③地域公共交通体系など生活サービスの再編・効率化

(地域公共交通の維持と再編)

・地域鉄道の維持確保のため、安全運行に必要な設備投資等を支援するとともに、バス交通の維持確保のため、広域幹線バス路線や市町村自主運行バスの運行を支援する。

○岐阜県地域公共交通計画

地域公共交通の「活性化」

(4) 新モビリティサービス等を活用したDXの促進

・MaaSを単なる検索・予約・決済等の機能としてではなく、観光等様々なサービスと連携した取組みとして、民間事業者によるMaaS事業の展開を見据えつつ、活用を検討します。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

調査事業の成果を活用し、MaaSの県内での普及を図り、地域や観光地の移動手段の確保・充実や公共交通機関の維持・活性化を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①						

### ○指標を設定することができない場合の理由

MaaSの具体的な活用や目指す姿は本調査研究事業の中で検討する内容であるため、現時点で目標を定めることはできない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	<p>令和4年8月に国交省が取りまとめた「アフターコロナに向けた地域交通の「リ・デザイン」に関する提言」において、MaaSなどの「交通DX」の取り組みを進めていくことが必要であるとされており、全国的に必要性は高まっている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3: 期待以上の成果あり 2: 期待どおりの成果あり 1: 期待どおりの成果が得られていない 0: ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	/
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている</li> </ul>	
(評価)	/

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 人口減少、輸送需要の減少の継続等により公共交通の維持が課題となっていることから、効率性・利便性の向上が求められている。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 「清流の国ぎふ」創生総合戦略では、鉄道とバスの連携強化やバス路線網再編等による運行の効率化等の改善を図り、地域に適した公共交通網の形成を促進するとされており、次年度以降も事業を継続する。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	